

# 令和4年度 林業普及週間現地情報(5/22～5/28)

森林管理課

## 県立北部農林高等学校への県産木材利用の普及について

5月24日(火)

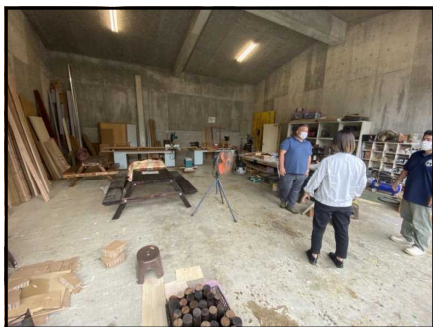
令和4年5月24日、県産木材利用の普及のため、森林資源研究センターとともに名護市にある県立北部農林高等学校へ赴き、林業緑地科の教諭及び実習助手と意見交換を行った。

同高校の林業緑地科では木工製作やきのこ生産を行っており、沖縄北部森林組合へのインターン実習も行っている。しかし、県産木材はほとんど使われておらず、県からの木材利用及び沖縄県の森林・林業についての知見の普及も行われていない。

このため、沖縄県北部農林水産振興センターより、森林の持つ機能や、県の林業の歴史、県の施策方針であるやんばる型森林業、沖縄北部森林組合が取り組んでいる名護市型林業経営等について紹介を行うとともに、同研究センターが保有する県産木材の端材を同高校へ提供し、県産木材を生徒に使ってもらう取り組みができないか、提案を行った。

教諭らからも沖縄の森林・林業に関する座学や県産木材を使った実習を行いたいとの返答があり、農林高校の生徒を対象とした森林教育を行うこととなった。

今後、農林高校の生徒への継続した森林教育を行うことで、県産木材の利用促進につなげたい。



↑ 農林高校の木工室



↑ しいたけの栽培状況



←教諭らとの意見交換

(報告者：北部農林水産振興センター 仲里・森田・仲宗根)